

すぐできる!

人材タイプ別診断

— エニアグラム分析で試す自己理解と適材適所への活用 —

バリューアップサービス 代表取締役 安村 明史

■ミスマッチの予防・解消は「自己分析」から

“採用”が重要課題に上っている足下で“離職リスク”が台頭してきているという。いわゆる新人の定着課題のほか、(不本意な就職を今まで我慢してきた)中堅社員の転職も活発化するといわれている。職種選択、仕事環境、人間関係、待遇条件……いずれにしても離職者のホンネは「ミスマッチ」に集約されるだろう。言い換えれば「適材適所」の問題が大きくなってきているのだ。

そこで本稿では適材適所を実現するツールの1つとして、人材タイプを判定する「エンニアグラム分析」を紹介する。本人さえ気付いていなかったキャラクターを表出させ、個人には適材感・適所感の自覚を導く助けになる。グループで用いれば相互理解を促進させる機会になる。また、管理者にとってはリーダーシップスタイルの気づき、日頃の部下指導資料にもなる。さらに組織的に用いれば登用・配置の資料とすることも可能だ。

さしあたって直面する問題がなくても、まずは読者自身のタイプ分析を試してみたいかだろう。分析結果に納得してから、組織的な展開を考えてもいい。

(編集部)

構成

1. 人材の持ち味を生かしているか
 - (1) 離職, ストレス, メンタルヘルスで悩む企業, 上司・部下
 - (2) 適材適所を考える
 - (3) 人材を活かすエンニアグラムコーチング
2. エニアグラムの手法とは
 - (1) エゴグラムとは
 - (2) EQとは
 - (3) エニアグラムの手法とは
3. 診断テストの進め方
 - エンニアグラム分析・判定シート
 - タイプごとの特徴
4. 人事教育制度への反映
 - (1) 個々の分析結果を経営, 人事が用いる場合
 - (2) 組織リーダーが自己分析に活用する場合
 - (3) 教育制度への展開
 - (4) メンタルケアに活用
 - (5) やがて社風, 文化を変えるツールに
5. エニアグラム分析の使い方の注意点

■安村明史 (やすむら めいし)

1958年3月生まれ。15年間の学習塾経営後、リクルート系コンサルタント会社で人材教育に従事する。日本で初めてエンニアグラムコーチングのプログラムを開発し、現在、バリューアップサービス取締役社長、銀座コーチングアカデミー代表、日本マンパワー・マネジメントコンサルタント、中小企業診断協会ビジネスコーチングラボ・顧問。雇用・能力開発機構、大手企業ほか様々な組織・団体で、セミナー、研修を展開中。著書に『9タイプ・コーチング』(PHP研究所)ほか。

■バリューアップサービス:

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-20-1千駄ヶ谷ビル3F

●TEL: 03-5412-0415 FAX: 03-5786-3219 ●ホームページ: <http://www.valueup-service.com/>